

教育改善部門 事業報告

1. はじめに

教育改善部門は、全学教務委員会の評価・FD教育改善専門部会の下で、「学生による授業評価」および「長崎大学FD・SD」の事業を行っている。以下、その実施概要を報告する。

設問5	自分は、シラバスに記載された授業目標を達成することができた。
設問6	自分は、この授業によって学習意欲が喚起された。
設問7	総合的にみて、この授業は自分にとって満足できるものであった。

2. 平成25年度『学生による授業評価』実施状況

2.1 概要

長崎大学では、平成14年度から全授業科目を対象として『学生による授業評価(以下、授業評価)』を実施している。本学では、授業評価を総括的に捉えるために表1のような全学共通項目を設けている。この全学共通項目に加え、教養教育(1～2年次生)においては科目別追加項目を、専門教育においては部局別追加項目をカテゴリー(評価項目の集まり)として設定している。さらに担当教員は、授業評価毎に個別の追加項目を加えることもできるようになっている。また、学生の選択肢は全ての設問に共通で表2のようになっている。なお、本紀要の執筆時において、平成26年度後期の授業評価を実施中であるため、平成25年度の授業評価について報告するものとする。

表1 全学共通項目

設問1	シラバスは、授業の目標や計画及び評価方法を適切に示していた。
設問2	授業は目的達成のため計画的に進められた。
設問3	授業担当者の教え方は適切だった。
設問4	授業担当者は、学生が質問や相談しやすい環境・雰囲気作りを行った。

表2 学生の選択肢

そう思う
どちらかといえばそう思う
どちらともいえない
どちらかといえばそう思わない
そう思わない

2.2 受付状況および実施状況

平成25年度の受付状況および実施状況は表3に示す通りである。なお、平成23年度より、全科目ではなく各教員の希望科目(年1科目以上)について授業評価を行っている。

表3 平成25年度の受付状況および実施状況

受付件数	1682件
実施件数	1571件
実施率(%)	93.4%

表3よりわかる通り、平成25年度においては1682件の申し込みがあり、事前の取り消しや未実施のものを除くと1571件が実施された。また、実施率(実施件数/受付件数)は93.4%であった。

2.3 参考資料

- [1] 長崎大学公式ページ『大学点検・評価』→『学生による授業評価』:
http://www.nagasaki-u.ac.jp/plan/pln_jug_hyoka.html
- [2] 長崎大学大学教育イノベーションセンター公式ページ『授業評価』:
http://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/overview/improve_education/TV_report.html

3. 平成26年に実施した長崎大学FD・SD

当部門は、教務委員会の評価・FD教育改善専門部会と協力しながら「長崎大学FD・SD」の企画・運営を行っている。ここでは、平成26年1月から同年12月にかけて全教職員または全教員を対象に実施された集合研修について報告する。

3.1 基礎力テスト報告会

(1)趣旨

各学部1年生を対象に平成25年秋に実施した基礎力テスト(PROG)の分析結果の報告を行った。全体傾向とともに学部毎の特徴や他大学との比較等を踏まえて、本学1年生のジェネリックスキルの状況と今後の教養教育の課題を整理した。

(2)対象

全教職員、特に教務委員会委員、教養教育実施専門部会委員、評価・FD教育改善専門部会委員

(3)日時

平成26年2月17日(月) 16:00~17:30

(4)場所

事務局第2会議室

(5)講師

松村直樹氏(株式会社リアセック 代表取締役)・石川純一氏(株式会社リアセック 主任研究員)

(6)参加数

26名

3.2 アクティブラーニング事例報告会

(1)趣旨

全学モジュール科目の中から8つの科目を取り上げ、分科会A(自然科学系)・分科会B(社会科学)に分かれて、苦勞した点・失敗した点も含め話題提供していただいた。それをもとに総括では、フロア全体で次年度の授業に向けて工夫を考え合う機会とした。

(2)対象

全教職員(非常勤を含む)、TA

(3)日時と場所

平成26年3月7日(金) 14:00~16:15

(4)場所

分科会A:教育学部21番教室

分科会B:教育学部22番教室

(5)講師

<分科会A> 田中俊幸 准教授(工学部)、長島雅裕 准教授(教育学部)、柴田裕一郎 准教授(工学部)、深見聡 准教授(環境科学部)

<分科会B> 山岸賢一郎 准教授(教育学部)、植木とみ子氏(大学教育イノベーションセンター・非常勤講師)、川越明日香 助教(大学教育イノベーションセンター)、丹羽量久 教授(情報メディア基盤センター)

(6)参加数

17名

3.3 ポートフォリオ解説会

(1)趣旨

平成26年度からの学生のラーニング・ポートフォリオの導入にあたり、国内有数の先進事例である佐賀大学から講師を招き、ポートフォリオの意義と留意点を報告していただいた。

(2)対象

全教職員、特に評価・FD教育改善専門部会委員

(3)日時

平成26年3月10日(月) 14:30~15:30

(4)場所

事務局第2会議室

(5)講師

皆本晃弥 教授(佐賀大学大学院工学系研究科)

(6)参加数

32名

3.4 モジュール・フォーラム

(1)趣旨

モジュール形式による教養教育の第1クールについて、科目担当者対象の総括調査や授業評価の結果、学生アンケートの結果をもとに総括し、次年度に向けての課題を整理するとともに改善施策について討論を行った。

(2)対象

全教職員、特に教務委員会委員、教養教育実施専門部会委員、評価・FD教育改善専門部会委員、モジュール科目小委員会委員

(3)日時

平成26年3月17日(月) 16:00~17:30

(4)場所

事務局第2会議室

(5)講師

岡田佳子 准教授(大学教育イノベーションセンター)、川越明日香 助教(大学教育イノベーションセンター)、遠藤眞次氏(学生による教育改善のための協議会代表・歯学部3年)

(6)参加数

24名

14:00~14:05	集合写真撮影	
14:05~14:15	休憩	
14:15~14:55	「長崎大学の情報環境とLACSについて」	村田嘉弘 副学長(情報担当)
14:55~15:10	質疑応答	
15:10~15:15	閉会の挨拶	岡田佳子 准教授(大学教育イノベーションセンター)

3.5 新任教職員ガイダンス「ウェルカムFD・SD」

(1)趣旨

新任の教職員を対象に、長崎大学で職務を開始するにあたってのガイダンスを、例年同様2日間にわたって行った。1日目は、長崎大学が目指す教育、研究等に関する基本的知識を得ることが目指された。2日目は、歴史的遺構を巡るキャンパスツアー「長崎大学歴史散歩」を行い、長崎大学にかかわる歴史を知って本学への帰属意識を深めることが目指された。

(2)対象

平成25年4月以降に長崎大学に新たに赴任した教職員

第1日 第1部「長崎大学が目指すもの」

(3)日時

平成26年4月2日(水) 13:00~15:15

(4)場所

事務局第2会議室

(5)参加数

77名

(6)プログラム

時間	内容	講師
13:00~13:05	開会の挨拶	松坂誠應 理事(教学担当)
13:05~13:45	「新任教職員へのメッセージ~長崎大学の課題と展望~」	片峰 茂 学長
13:45~14:00	質疑応答	

第2日 第2部「長崎大学歴史散歩-150年をふりかえる」

(3)日時

平成26年4月3日(木) 13:00~17:15

(4)場所

長崎大学(文教・坂本・片淵各キャンパス)

(5)参加数

42名

(6)プログラム

時間	内容	講師
13:00~13:05	開会の挨拶	高橋正克 教授(大学教育イノベーションセンター)
文教キャンパス歴史散歩		
13:15~14:20	三菱長崎兵器製作所の碑	高橋正克 教授、山地弘起 教授(大学教育イノベーションセンター)
	長崎師範学校原爆慰霊碑	
	中部講堂	
	「若人」の像	
	環境科学部正門前(旧教養部建物)	
13:45~14:00	下村脩名誉博士顕彰記念館(薬学部)	岸川直哉 准教授(医歯薬学総合研究科)
	お薬の歴史資料館(薬学部)	
休憩・バス移動		

坂本キャンパス歴史散歩		
14:30~ 15:40	150周年ミュージアム (良順会館)	志波原智美 主査 (学術情報部)
	熱帯医学ミュージアム (医学ミュージアム)	堀尾政博 教授 (熱帯医学研究所)
	原爆医学資料展示室 (医学ミュージアム)	三根眞理子 教授 (核兵器廃絶研究センター)
休憩・バス移動		
片淵キャンパス歴史散歩		
16:05~ 17:10	拱橋(こまねきばし)	大倉真人 准教授 (経済学部)
	長崎高商門標	
	瓊林会館	
	赤レンガ倉庫	
	特別講演「高商 100年と武藤文庫」	赤石孝次 教授 (経済学部)
	武藤文庫展示室	宮脇千幸 主査 (学術情報部)
17:10~ 17:15	閉会の挨拶	山地弘起 教授 (大学教育イノベーションセンター)

3.6 FD・SD サマーワークショップ

(1)趣旨

本ワークショップ・シリーズは、長崎大学の教職員が授業改善や学生支援等において十分に持ち味を生かせるようになることを目指して、毎年実施されている。ニーズの高い内容を精選し、実践にすぐにつながる学習形態を取り入れて、後期からの教育改善に効果が期待できるプログラム構成を試みている。

(2)対象

全教職員 (非常勤を含む)

(3)日時

平成 26 年 8 月 26 日 (火) 10:00-12:00
13:00-15:00
8 月 28 日 (木) 10:00-12:00
9 月 4 日 (木) 15:00-17:30

9 月 8 日 (月) 16:00-17:30

9 月 11 日 (木) 13:00-15:30

9 月 12 日 (金) 14:00-16:00

9 月 22 日 (月) 16:00-18:00

9 月 25 日 (木) 10:00-12:30

(4)場所

文教キャンパス内

(5)参加数

204 名 (延べ数)

(6)プログラム

時間	内容	講師
8 月 26 日 (火)		
10:00~ 12:00	①新人教員のための授業設計入門	岡田佳子 准教授 (大学教育イノベーションセンター)
13:00~ 15:00	②伝わりやすい話し方のコツ	矢野香 助教 (地域教育連携・支援センター)
8 月 28 日 (木)		
10:00~ 12:00	③体験する PC 必携化 - 今教室の中で何が出来る!? -	柳生大輔 助教 (ICT 基盤センター)、上繁義史 准教授 (ICT 基盤センター)
9 月 4 日 (木)		
15:00~ 17:30	④アクティブラーニング事例報告 - モジュールⅡ前期科目より -	福田正弘 教授 (教育学部)、朝倉宏 准教授 (水産・環境科学総合研究科)、永井智香子 准教授 (国際教育リエゾン機構)、三根眞理子 教授 (核兵器廃絶研究センター)、川越明日香 助教 (大学教育イノベーションセンター)、松坂誠應 教授 (医歯薬学総合研究科)、藤本登 教授 (教育学部)

9月8日(月)		
16:00~ 17:30	⑤レポート&課題を効率的に評価するには? ルーブリック入門	岡田佳子 准教授 (大学教育イノベーションセンター)、 當山明華 助教 (大学教育イノベーションセンター)
9月11日(木)		
13:00~ 15:30	⑥新任教授へのメッセージー長崎大学の課題と展望	片峰茂 学長、 松坂誠應 理事 (教学担当)、 調漸 理事 (研究担当)、 山崎裕史 理事 (財務担当)、 福永博俊 理事 (人事担当)
9月12日(金)		
14:00~ 16:00	⑦アクティブラーニング講座ー講義型授業での導入方法	岡田佳子 准教授 (大学教育イノベーションセンター)、 若菜啓孝 教授 (大学教育イノベーションセンター)
9月22日(月)		
16:00~ 18:00	⑧モジュール・フォーラムーモジュールII前期科目の総括	松坂誠應 理事、 岡田佳子 准教授 (大学教育イノベーションセンター)
9月25日(木)		
10:00~ 12:30	⑨学生とともに進める教育改善	「学生による教育改善のための協議会」メンバー、 評価・FD 教育改善専門部会委員

3.7 教育革新シンポジウム「教養教育におけるICTの有効活用」

(1)趣旨

今日、大学の授業では、学生の主体的・能動的

な学習を引き出すための教授方法がますます求められており、本学においてもモジュール科目の授業で、アクティブラーニングの充実がめざされている。

平成26年度より新入生のノートパソコン必携化を開始したことも鑑みて、大学教育におけるICTの利活用に着目し、教育工学分野における研究の第一人者である早稲田大学の向後千春氏を招き、ご講演いただいた上で、3つの大学から先進事例をご報告いただいた。

(2)対象

全教職員(非常勤を含む)

(3)日時

平成26年8月28日(木) 13:00~17:15

(4)場所

文教スカイホール(グローバル教育・学生支援棟)

(5)参加数

48名

(6)プログラム

時間	内容	講師
13:00~ 13:10	開会の挨拶	村田嘉弘 副学長 (情報担当)
13:10~ 14:30	基調講演「学修効果を高めるICTの活用方法~反転授業も含めた授業設計~」	向後千春 教授 (早稲田大学人間科学学術院)
14:30~ 14:50	質疑・討論	
14:50~ 15:00	休憩	
15:00~ 15:30	事例報告1「ICTによる学修支援の現状と今後~講義自動収録配信システムの構築を例として~」	堀良彰 教授 (佐賀大学全学教育機構)
15:30~ 16:00	事例報告2「金沢大学におけるICTを活用した教育への取り組み」	森祥寛 助教 (金沢大学総合メディア基盤センター)
16:00~ 16:30	事例報告3「嘉悦大学での挑戦:教・職・学で挑む初年次教育改革」	白鳥成彦 准教授 (嘉悦大学ビジネス創造学部)

16:30~ 17:10	質疑・討論	
17:10~ 17:15	閉会の挨拶	村田嘉弘 副学長 (情報担当)

4. おわりに

本稿では、大学教育イノベーションセンターの教育改善部門が関わる2つの事業「学生による授業評価」と「長崎大学 FD・SD」について、平成26年の実施概要を報告した。